

(令和3年12月試験研究業務月報)

試験研究課題：病原体侵入防止のための畜舎周囲消毒方法の省力化技術の開発

研究

## 試作した消毒液自動噴霧装置による実証試験

令和3年11月以降秋田県をはじめ、複数県で高病原性鳥インフルエンザが発生し、全国的にリスクが高まっています。

このことを受け、センターでは試作した消毒液自動噴霧装置を、実際に鶏を飼養している3棟の鶏舎周囲に設置する実証試験を行いました。

消毒剤には、逆性石けん液と消石灰飽和水溶液の2種類を使用し、噴霧ノズルの目詰まりや冬場の凍結の状況、装置の耐久性及び殺菌効果について調査を行っています。

今後は、ウイルスを用いた消毒効果の検証を行い、より早く生産現場へ普及できるように研究を進めます。



写真のように消毒液自動噴霧装置のノズル部分（赤い丸）の雪を払い除けるだけで、雪の中でも凍結せずに噴霧可能となります。